

天草空港ランウェイウォークラリー大会

初めて歩く滑走路に感激！

3月22日、「天草空港ランウェイウォークラリー大会」が天草空港で行われ、家族連れなど355人が参加しました。これは、天草空港管理事務所などが、同空港の開港10周年を記念して実施。滑走路内をウォークラリーのコースとして開放するのは初めて。この日は天候に恵まれ、参加者は全長1kmの滑走路を含む約3kmのコースを自分のペースで満喫。ふだんは入ることができないとあって、歩き心地を確かめたり、写真撮影をしたりして楽しんでいました。



▲同空港キャラクターの“天空流くん”と楽しく歩く子どもたち

天草市営鬼池港フェリーターミナル落成式

新しいフェリーターミナルの完成を祝う

3月31日、「天草市営鬼池港フェリーターミナル落成式」が同所で開かれ、関係者など40人が参加しました。この施設は、観光振興や利用者の利便性の向上を目的に市が建設。広々とした待合所のほか、多目的トイレや交流広場などが新たに設けられました。式典では、安田市長が「年間約44万人が利用する海上交通の大動脈が、さらに活気づくことを期待している」とあいさつ。その後、関係者が落成を記念してテープカットを行い、完成を祝いました。



▲完成を記念してテープカット

天草戦没者追悼式

戦没者を慰霊し、世界の恒久平和を願う

4月3日、戦争で尊い命をなくされた天草島内の戦没者の霊を慰めるために、上天草市・天草郡苓北町・天草市の2市1町合同による「第5回天草戦没者追悼式」が天草市民センターでしめやかに行われました。

追悼式には、戦没者の遺族など約400人が参列。戦没者之霊位に献花を行い、亡くなられた人たちの冥福をお祈りするとともに、二度と悲しみの歴史を繰り返すことのないよう、世界の恒久平和を祈念しました。



▲追悼のことばを述べられる松原二四郎・戦没者遺族天草連合代表

ハイチ大地震救援活動

市出身の3人がハイチ共和国で救援活動

中央アメリカにあるハイチ共和国で発生した地震による被災者救援のため、熊本赤十字病院から現地に派遣されていた5人のうち、市出身の岡村直樹医師（佐伊津町）が2月21日、浦上友美看護師（浄南町）と溝口幸介主事（河浦町河浦）が3月28日に、現地での救援活動を終えて無事帰国。3人は、現地で医療・看護・事務の業務にそれぞれ約1カ月間従事。帰国した岡村医師は「ハイチが復興を遂げるためには、長期的な支援が必要」と話していました。



▲写真左から浦上看護師、岡村医師、溝口主事

倉岳ウォークラリー

倉岳

咲き誇る桜と雄大な眺めを満喫

満開の桜を楽しみながら、天草の最高峰“倉岳”の山頂を目指す「倉岳ウォークラリー」が4月4日、倉岳小学校をスタート・ゴールに開催され、市内外から320人が参加しました。コースは、棚底城跡や防風石垣群などを巡る8.5kmで、途中にはクイズコーナーも設置。また、ゴールの山頂付近では、地元でとれたイノシシを使ったシシ汁がふるまわれたほか、お楽しみ抽選会なども行われ、参加者はさわやかな春風と山頂から望む雄大な眺めを満喫しました。



▲満開の桜並木を歩く参加者



▲チラシを配布しながら交通安全を呼びかける牛深高校郷土芸能部の生徒

春の全国交通安全運動推進大会

牛深

交通ルールを守って、事故を無くそう！

4月6日、春の全国交通安全運動推進大会（牛深・河浦地区）が牛深総合体育館で開催され、15団体180人が参加しました。式典では、同地区内の小学校に通う新入学児童に、黄色い帽子やランドセルカバーが贈呈されたほか、牛深高校郷土芸能部による牛深ハイヤ踊りが披露されました。また、式典終了後には、参加者や同校の生徒たちが、通行する車に交通事故防止を啓発するチラシを配布しながら、交通安全を呼びかけました。

宿泊施設“ひだまり館”オープン

新和

合宿するなら新和町で！！

新和町では、地域活性化に向けたまちづくりの一環として、現有施設の有効利用と地域の特性をいかして、中学・高校や実業団などを対象にした、スポーツ合宿などの誘致に取り組んでいます。4月1日には、既存施設を活用して50人規模の宿泊者を受け入れることができる宿泊施設“ひだまり館”がオープン。また、周辺にはトレーニングができる屋内練習施設なども整備されています。合宿に関するお問い合わせは、新和支所・産業建設課☎④2111へ。



▲利用者待つ宿泊施設“ひだまり館”

一町田地区さくらまつり&青少年音楽祭

河浦

桜咲くうらかな春にスポーツや演奏に親しむ

4月3日、一町田公民館周辺で「一町田地区さくらまつり」が開かれました。これは、同地区振興会が、桜の見ごろを迎える時期にあわせて開催しているもの。晴天に恵まれたこの日は、グラウンドゴルフや生け花・レザークラフト(革細工)の展示、バザーなどが行われ、参加した地区住民など250人はうらかな春のひとときを満喫。また、青少年音楽祭もあわせて実施され、地元の小学生や高校生によるピアノやクラリネットの演奏に聞き入っていました。



▲咲き誇る桜の下でグラウンドゴルフをする参加者